

遠野スタイル自立・連携行動プランの進捗状況について

資料No. 2

【平成23年度決算概要】

平成23年度の第三セクター等の決算状況は、ほとんどの団体が黒字決算でした。しかし、東日本大震災の影響等により、赤字決算となった団体が2団体ありました。社団法人遠野市畜産振興公社は、馬の里部門の競走馬調教施設の民営化に伴う臨時的な改修により、赤字決算となっています。遠野アドホック株式会社は、観光客の大幅な減少により、平成14年度以来の赤字(当期利益 △ 2,666千円・△ 420.0%、期末未処分利益 3,790)となりました。なお、同社は昨年3月末に解散を決めており、本年度末までには資本金35,000千円をすべて出資者に返還し、会社清算を終える予定です。各団体に求めている「経営計画・経営ビジョン」は、すべての団体で策定済みとなりました。「経営責任の明確化・体制の見直し」についても、対象となった4団体すべてが見直しを終えています。

【プランの進捗状況】

改革状況

概ね良好

No.1 (株)遠野	
資本金・進捗状況等	
資本金	200,000千円
市出資額	100,000千円
出資割合	50.0%
経営計画	○
経営責任	○

平成23年度決算状況	
売上高	527,147千円 (22.3%)
事業利益	54,504千円 (4.463.2%)
当期利益	35,321千円 (3,949.9%)
期末未処分利益	43,451千円

【改革状況】 良好

- ① あえりあ遠野の指定管理のほか、平成25年4月からは「とおの物語の館」の指定管理者として管理運営を行う予定となっている。
- ② 「とおの物語の館」周辺施設を活用した割引プランを設けるほか、観光協会や遠野風の丘などとの連携によるあえりあ遠野の客室販売を積極的に行っている。
- ③ あえりあ遠野の施設が丸10年を迎えたことから、内装や設備等を平成25年度から計画的に改修する予定。この改修費用の一部を一定のルールの下、同社が負担することとなっている。

No.2 (株)リンデンバウム遠野	
資本金・進捗状況等	
資本金	47,000千円
市出資額	10,000千円
出資割合	21.3%
経営計画	○
—	—

平成23年度決算状況	
売上高	499,795千円 (115.5%)
事業利益	9,076千円 (351.6%)
当期利益	7,232千円 (324.5%)
期末未処分利益	13,527千円

【改革状況】 良好

- ① 被災地の木材を活用した復興住宅の供給体制を整えることを目的に「上閉伊地域林業・木材・住宅産業振興協議会」が平成23年11月1日に設立され、リンデンバウム遠野も参画。この供給体制の構築に向けた準備を進めている。
- ② 平成24年度の役員改選により、森林のくに遠野・協同機構の理事長にリンデンバウム遠野の代表取締役社長が就任。これをきっかけに、木工団地が本来もつ機能と役割の再生に向けた取組が進められている。

No.3 (社)遠野市畜産振興公社	
資本金・進捗状況等	
資本金	250,000千円
市出資額	190,000千円
出資割合	76.0%
経営計画	○
経営責任	○

平成23年度決算状況	
売上高	124,090千円 (△6.6%)
事業利益	△ 148,729千円 (△100.8%)
当期利益	△ 8,219千円 (△221.9)
期末未処分利益	△ 83,313千円

【改革状況】 概ね良好

- ① 専務理事2人体制(放牧部担当、馬の里担当)から、専務理事1人、常務理事1人に改め、責任を明確化。
- ② 放牧部は、放射性物質による牧野の除染作業に努めるとともに、畜産振興の拠点として整備を進めているキャトルセンターの運営に向けた体制構築を進めている。
- ③ 遠野馬の里は、競走馬部門を平成23年10月に完全民営化。民間会社の遠野T Cは、損益分岐頭数である年平均60頭を上回る81.6頭を確保しており、順調に推移。
- ④ 公益法人制度改革の対応は、平成25年4月の一般社団を目指し、平成24年11月21日付け岩手県に申請済み。

No.4 (社)遠野ふるさと公社	
資本金・進捗状況等	
資本金	71,000千円
市出資額	60,500千円
出資割合	85.2%
経営計画	○
経営責任	○

平成23年度決算状況	
売上高	892,017千円 (5.3%)
事業利益	33,381千円 (1,067.0%)
当期利益	33,427千円 (1,051.4%)
期末未処分利益	4,532千円

【改革状況】 良好

- ① 中期経営計画に定める経営改善42項目のうち、観光・物産情報のデータ化や施設共通ポイントカードの導入など24項目について、担当者及びスケジュール等を明確に定めて取り組んでいる。
- ② 公益法人制度改革の対応は、平成25年4月の一般社団を目指し、平成24年6月16日付け岩手県に申請済み。

No.5 (社)宮守わさびバイオテクノロジー公社	
資本金・進捗状況等	
資本金	5,000千円
市出資額	3,300千円
出資割合	66.0%
経営計画	○
—	—

平成23年度決算状況	
売上高	4,215千円 (34.2%)
事業利益	△ 7,383千円 (△3.1%)
当期利益	213千円 (121.7%)
期末未処分利益	2,259千円

【改革状況】 概ね良好

- ① わさび苗の生産販売だけでなく、遊休わさび圃場を借上げ根わさびの生産・販売も行い、経営拡張に努めている。平成24年度はさらに31aの圃場を借上げ、計45aの圃場で根わさびの生産に取り組んでいる。
- ② 公益法人制度改革の対応は、平成25年4月の一般社団を目指し、平成24年9月26日付け岩手県に申請済み。併せて名称を「一般社団法人遠野わさび公社」に変更する予定。

No.6 (財)遠野市教育文化振興財団 + (財)遠野国際交流協会	
基金・進捗状況等	
基金	154,363千円
市寄附金	90,000千円
経営計画	○
—	—

平成23年度決算状況	
売上高	2,549千円 (△19.9%)
事業利益	△ 2,955千円 (△102.1%)
当期利益	0千円 (0.0%)
期末未処分利益	—

【改革状況】 概ね良好

- ① 平成24年10月1日付け、遠野国際交流協会と統合。平成25年4月からは、市の生涯学習事業の一部を受託し、新財団としての活動が本格的にスタートする。
- ② 公益法人制度改革の対応は、平成25年10月の一般財団を目指し、定款変更や公益目的財産支出計画等の準備作業中。岩手県への申請は平成25年5月を予定している、これに合わせ、財団の名称を変更する予定で、現在、名称を検討中。

No.7 (一般社団)遠野市観光協会	
資本金・進捗状況等	
資本金	—
市出資額	—
出資割合	—
経営計画	○
経営責任	○

平成23年度決算状況	
売上高	12,791千円 (△42.6%)
事業利益	3,889千円 (41.9%)
当期利益	4,718千円 (43.8%)
期末未処分利益	20,935千円

【改革状況】 概ね良好

- ① 平成24年4月から「遠野市観光交流センター」の指定管理者となり、観光情報の提供だけでなく、物産販売も行っている。
- ② 経営の自立を図るため、平成24年10月に法人格(一般社団)を取得。市職員派遣も廃止し、新たに採用した専務理事兼事務局長の下、観光振興に取り組んでいる。
- ③ 新組織としての理事の選任や会員募集などの基本的な体制等整備は平成25年4月からの予定で、「遠野市観光協会ビジョン」に掲げる人人体制(販売促進部と旅行部の2部体制)も、これに合わせて構築する予定。

No.8 (株)遠野テレビ	
資本金・進捗状況等	
資本金	93,000千円
市出資額	50,000千円
出資割合	53.8%
経営計画	○
—	—

平成23年度決算状況	
売上高	259,806千円 (12.9%)
事業利益	10,792千円 (146.3%)
当期利益	8,203千円 (54.1%)
期末未処分利益	55,771千円

【改革状況】 良好

- ① 中期経営計画を策定し、3,400万円の自主事業収入の確保を目指し、タブレット端末を使った高齢者向けテレビサービスや24時間受付体制の構築、暮らしに役立つ生活情報の発信など、利用者の満足度向上に向けた取り組みを展開中。